

四国学院大学アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(サーブ)

SARP 20回記念公演

2021年5月上演予定

2021年度新入生もオーディションに参加できます!



四国学院大学『身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャー(演劇コース)』で毎年開催してきた四国学院大学アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(SARP/サーブ)が、来年20回を迎えます。この20回の節目に、現在演劇界で注目されている木ノ下歌舞伎主宰・木ノ下裕一氏を迎え、記念公演を行います。今回上演する作品は、『義経記』。内子座での外部公演も予定しています。

本学ではプロの演出家・舞台技術者と直に接する時間が多く、在学中でもプロのオーディションや外部公演への出演機会に恵まれ、将来プロの舞台上で活躍することも可能です。

木ノ下歌舞伎主宰 木ノ下裕一

× 四国学院大学准教授 西村和宏

『義経記』

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する木ノ下歌舞伎。2019年度 SARPvol.16『平家物語 REMASTER』では、平家滅亡の物語を描きました。今回も、木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一(本学非常勤講師)を監修・補綴に迎え、四国学院大学准教授で演出家の西村和宏が再度タッグを組み、新たに『義経記』に挑戦します。『平家物語 REMASTER』とは、また違った源義経の物語をお届けします。

●SARP 出演者の声

大瀬戸 正宗さん(SARPvol.19 出演)

2020年10月のSARPvol.18では舞台監督、今回のvol.19(12月17~20日上演予定)では俳優として参加します。1ヵ月もの間、プロの演出家、俳優の方から学び、一緒に作品を創作していく貴重な体験ができます。演劇コースでは、SARPの他にも、贅沢な講師陣による本格的指導を受けることができるワークショップや、劇場の管理やスタッフワークに関する経験を積むことのできる小スプロダクションでも、演劇に関わる多くの機会があります。このような経験を積むうちに、これまで私は俳優志望でしたが、次第に舞台芸術の企画をしたり、裏方として支えることもおもしろいと感じるようになりました。様々な演劇経験を活かして、今後進む道を模索していきたいと思っています。



プロフィール / 木ノ下裕一 Yuichi Kinoshita

1985年和歌山市生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に、古典演目上演の補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『黒塚』『心中天の網島』『義経千本桜-渡海屋・大物浦-』『東海道四谷怪談-通し上演-』など。2016年に上演した『勤進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

●演劇コースの学生ブログ ~稽古風景をご紹介~

稽古中の様子を、学生が交代でお伝えします。現在、SARPvol.19、卒業公演などの座組が記事を担当しています。ぜひご覧ください。



(SARP/サーブ)とは

四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となっており制作する公演です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指し、2011年度より年2回のペースで公演を行なっています。



四国学院大学 20^{Major}4^{Minor}

四国学院大学 入試課

〒765-8505 善通寺市文京町三丁目2番1号

Tel 0120-459-433

Email info@sg-u.ac.jp



大学HP